



平成 28 年 8 月 5 日

各 位

会社名：株式会社 ダイナック  
代表者名：代表取締役社長 若杉 和正  
(コード番号：2675 東証第二部)  
問合せ先：取締役 管理統括本部長 管理本部長  
法務・総務部長 保坂 孝徳  
(電話：03-3341-4216)

## 親会社に係る中間決算内容に関するお知らせ

当社は、当社の親会社であるサントリーホールディングス株式会社の 2016 年 12 月期の中間決算内容を開示いたしますのでお知らせいたします。

記

< 開示内容 >

### 1. 親会社等の概要

名称	所在地	代表者役職・氏名	事業内容	資本金(千円)
サントリーホールディングス株式会社	大阪市北区 堂島浜 2-1-40	代表取締役社長 新浪 剛史	グループ会社の経営支援及び管理	70,000,000

### 2. サントリーホールディングス株式会社 2016年12月期 中間決算概況(連結)

以 上



## 2016年12月期 中間決算概況

2016年8月5日

会社名 サントリーホールディングス株式会社 URL <http://www.suntory.co.jp>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)新浪 剛史  
 問合せ先責任者 (役職名)広報部長 (氏名)丹羽 徹 広報部 TEL (03)5579-1150  
 TEL (06)6346-0835

(百万円未満切捨て)

### 1. 2016年6月中間期の連結業績(2016年1月1日～2016年6月30日)

(1)連結経営成績 (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2016年6月中間期	1,273,069	3.0	87,277	14.0	75,647	14.2	35,633	129.5
2015年6月中間期	1,236,336	11.5	76,527	18.8	66,238	6.0	15,529	△ 9.7

(参考) のれん等償却前利益

	営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2016年6月中間期	121,387	10.3	109,758	10.0	63,476	44.4
2015年6月中間期	110,049	31.4	99,759	21.9	43,943	40.2

(注) のれん等償却前利益 = 利益 + M&Aにより発生するのれん、商標権等償却費

	1株当たり 中間純利益		潜在株式調整後 1株当たり中間純利益	
	円	銭	円	銭
2016年6月中間期	52	11	-	-
2015年6月中間期	22	73	-	-

### (2)連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2016年6月中間期	4,133,767	941,882	16.6
2015年12月期	4,606,990	1,162,629	18.6

(参考) 自己資本 2016年6月中間期 685,103 百万円 2015年12月期 857,673 百万円

### (3)連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 中間期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2016年6月中間期	75,569	△ 11,994	39,793	344,735
2015年6月中間期	85,307	△ 44,931	△ 10,558	227,724

### 2. 2016年12月期の連結業績予想(2016年1月1日～2016年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

通 期	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する当期純 利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
	2,730,000	1.6	188,000	1.6	160,000	2.4	50,000	10.5	73	15

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(参考)

のれん等償却前利益

258,000	1.2	230,000	1.8	108,000	4.4
---------	-----	---------	-----	---------	-----

(参考)個別業績の概要

2016年6月中間期の個別業績(2016年1月1日～2016年6月30日)

(1)個別経営成績

(%表示は対前年中間期増減率)

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2016年6月中間期	37,056	17.3	18,752	34.3	18,221	34.0
2015年6月中間期	31,590	△ 39.0	13,967	△ 61.1	13,594	△ 61.0

	中 間 純 利 益		1株当たり中間純利益	
	百万円	%	円	銭
2016年6月中間期	21,676	334.3	31	70
2015年6月中間期	4,991	△ 83.1	7	30

(2)個別財政状態

	総 資 産	純 資 産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2016年6月中間期	2,092,486	536,019	25.6	783 91
2015年12月期	2,046,401	530,658	25.9	776 07

(参考) 自己資本 2016年6月中間期 536,019 百万円 2015年12月期 530,658 百万円

## 経営成績

### 1. 当中間連結累計期間の概況

当期(2016年1月1日～2016年6月30日)の世界経済は、一部に弱さがみられたものの、全体として緩やかに回復しました。わが国経済においては、緩やかな回復基調が続きましたが、一部、個人消費や企業収益などに弱さもみられました。

こうした中、サントリーグループは、〈飲料・食品〉〈酒類〉〈その他〉の各セグメントにおいて国内外で積極的な事業展開を行いました。当期の業績は、売上高1兆2,731億円(前年同期比103.0%)、営業利益873億円(同114.0%)、経常利益756億円(同114.2%)、親会社株主に帰属する中間純利益356億円(同229.5%)となりました。

なお、平成28年(2016年)熊本地震発生による特別損失101億円を計上しています。

グローバルスタンダードにならぬ、のれん等償却費を除いて計算すると、営業利益1,214億円(前年同期比110.3%)、経常利益1,098億円(同110.0%)、親会社株主に帰属する中間純利益635億円(同144.4%)となりました。

#### 〈飲料・食品セグメント〉

サントリー食品インターナショナル(株)は、ブランド強化や新規需要の創造に注力したほか、同社グループ各社の知見を活かしたコスト革新による収益力強化や品質の向上に取り組みました。

国内事業では、重点ブランドの強化に加え、特定保健用食品等の高付加価値商品への注力を通じ、新規需要の創造に取り組み、前年同期を上回る販売数量を達成しました。

「サントリー天然水」は、「清冽でおいしい水」「ナチュラル&ヘルシー」をブランド独自の価値として訴求しました。なかでも「サントリー ヨーグリーナ&南アルプスの天然水」が好調に推移し、ブランド全体の販売数量が大幅に伸長しました。

「BOSS」は、引き続き主力商品に注力したことに加え、ボトル缶コーヒー「プレミアムボス ブラック」「同 微糖」が大幅に販売数量を伸ばし、ブランド全体の伸びを牽引しました。また、6月にはカフェインレスの「ボス デカフェブラック」を新発売し、コーヒーの飲用シーン拡大を図りました。

「伊右衛門」は、四季の変化に合わせて味わいを変える提案を継続したほか、特定保健用食品「特茶」が大幅に販売数量を伸ばし、ブランド全体の販売数量は堅調に推移しました。

特定保健用食品は、同社が市場拡大を牽引し、確固たる地位を築いています。引き続き、「伊右衛門特茶」「サントリー 黒烏龍茶」などの積極的なマーケティングに取り組み、特定保健用食品合計の販売数量は、前年同期を大きく上回りました。

また、自動販売機事業、ファウンテン事業およびウォーター事業において、さらに高い付加価値をお客様に提供するため、サントリービバレッジソリューション(株)が4月に事業を開始しました。サントリーフーズ(株)とともに、それぞれの顧客対応力・販売力の強化に取り組みました。

国際事業では、各エリアにおいて重点ブランドの一層の強化やコスト削減等を実施しました。

欧州では、「Orangina」<sup>オランジーナ</sup>「Oasis」<sup>オアシス</sup>「Schweppes」<sup>シュウェッペス</sup>「Lucozade」<sup>ルコゼード</sup>「Ribena」<sup>ライビーナ</sup>などの主カブランドを中心に積極的なマーケティング活動を展開しました。フランスでは、事業環境が厳しい中、「Orangina」<sup>オランジーナ</sup>「Oasis」<sup>オアシス</sup>の販売数量は前年同期を下回りました。英国では、ブランドの活性化に取り組んだ「Lucozade」<sup>ルコゼード</sup>の販売数量が堅調に推移し、「Ribena」<sup>ライビーナ</sup>の販売数量も前年同期を上回りました。スペインでは、昨年開始したPepsiCo, Inc.との協業をさらに推進し、業務用の販売が引き続き好調に推移しました。また、英国で昨年12月に取り扱いを開始したポトルドウォーター<sup>ハイランド スプリング</sup>「Highland Spring」<sup>ハイランド スプリング</sup>に続き、フランスでフレーバーティー<sup>メイ ティー</sup>「May Tea」<sup>メイ ティー</sup>を5月に新発売するなど、欧州全体でブランドポートフォリオを強化しました。

アジアでは、各国において事業基盤の強化や主カブランドを中心としたマーケティング活動に取り組みました。健康食品事業では、タイにおいて「BRAND'S Essence of Chicken」<sup>ブランドズ エッセンス オブ チキン</sup>などの販売が堅調に推移しました。飲料事業では、ベトナムにおいて、4月に緑茶飲料の「TEA + MATCHA」<sup>ティープラス マッチャ</sup>を新発売するなどサントリーブランドのマーケティング強化に取り組み、ペプシコブランドとともに好調に推移しました。

オセアニアでは、主カブランド<sup>ヴィ</sup>「V」<sup>ヴィ</sup>の活性化に取り組んだほか、サントリーブランド<sup>オヴィ</sup>「OVI」<sup>オヴィ</sup>で積極的なマーケティング活動を行い、販売拡大に取り組みました。

米州では、ノースカロライナ州を中心にペプシコブランドのさらなる販売強化に加え、営業および物流の事業効率の改善を進めました。また、サントリーブランド「OVI」<sup>オヴィ</sup>の販売を1月に開始しました。

これらの結果、飲料・食品セグメントの売上高は、6,745億円(前年同期比109.1%)、営業利益492億円(同105.4%)となりました。

#### 〈酒類セグメント〉

ビームサントリー社は、為替や事業売却などの影響を除いた既存事業ベースの売上高が前年同期比一桁台半ば増となりました。「ジムビーム」<sup>ジムビーム</sup>「メーカーズマーク」<sup>メーカーズマーク</sup>「ティーチャーズ」<sup>ティーチャーズ</sup>「クルボアジェ」<sup>クルボアジェ</sup>「オルニートス」<sup>オルニートス</sup>などが好調に推移しました。また、「響」<sup>響</sup>「ジムビーム ブラック」<sup>ジムビーム ブラック</sup>「ノブクリーク」<sup>ノブクリーク</sup>などのプレミアムウイスキーが、世界的な酒類コンテストで栄誉ある賞を受賞しました。なお、当期決算においては、為替や事業売却などの影響を受け売上高は前年同期を下回りました。

北米・中南米地域は、既存事業ベースで前年同期を上回る売上となりました。なかでも米国は、前年同期比一桁台半ばの成長となりました。米国では、「ジムビーム」<sup>ジムビーム</sup>「メーカーズマーク」<sup>メーカーズマーク</sup>「クルボアジェ」<sup>クルボアジェ</sup>「サウザ」<sup>サウザ</sup>などが伸長したほか、価値訴求提案や料飲店様におけるマーケティング活動の強化により、プレミアムウイスキーなども伸長しました。また、「ジムビーム」ブランドは「ジムビームアップル」<sup>ジムビームアップル</sup>などのラインナップ拡充によるバーボンの多彩な味わいの提案が奏功し、伸長しました。

その他地域(北米・中南米地域、日本以外)では、既存事業ベースで欧州、ロシア、オーストラリア、インド、東南アジアなどが好調に推移しました。特に「カナディアンクラブ」<sup>カナディアンクラブ</sup>「クルボアジェ」<sup>クルボアジェ</sup>「メーカーズマーク」<sup>メーカーズマーク</sup>が伸長しました。また「ティーチャーズ」<sup>ティーチャーズ</sup>がインドで伸長しました。

日本では、サントリースピリッツ(株)が前年同期比103%の売上となりました。ウイスキーでは、「ジムビーム」が“ジムビーム ハイボール”を中心とした積極的なマーケティング活動を行い前年同期比149%と大きく伸長しました。RTDは、前年同期比114%と好調に推移しました。「-196°C ストロングゼロ」は、引き続き食中酒としての需要が拡大し、前年同期比116%と大幅に伸長しました。「ほろよい」は、その味わいとコミュニケーション活動が好評で前年同期比123%と好調に推移しました。また、「角ハイボール缶」「トリスハイボール缶」が引き続き好調に推移し、ハイボール缶計で前年同期比131%となりました。

サントリービール(株)は、総市場<sup>※1</sup>が前年同期比99%程度と推定される中、3,314万ケース<sup>※2</sup>(同101%)と、過去最高の販売数量を達成しました。同社ビール類<sup>※3</sup>のシェアは、16.0%(課税数量ベース)で過去最高となりました。

「ザ・プレミアム・モルツ」は、日本のビール市場に“エールビール”の魅力を新提案する「ザ・プレミアム・モルツ〈香るエール〉」を発売するとともに、全国17都市で体験イベント「ザ・プレミアム・モルツ フェスティバル」を実施するなど、積極的なマーケティング活動を展開しました。「ザ・モルツ」は、中味・パッケージをリファインし、同商品が持つ価値である‘UMAMI’の訴求を強化しました。「金麦」ブランドは、「金麦」が前年同期比105%、「金麦〈糖質75%<sup>※4</sup>オフ〉」が同111%と好調に推移しました。

No.1<sup>※5</sup>ノンアルコールビールテイスト飲料「オールフリー」は、中味・パッケージのリニューアルやWEBを活用したキャンペーンなど積極的なマーケティング活動により、ユーザーの拡大に取り組みました。

※1 ノンアルコールビールテイスト飲料を含む

※2 大瓶換算(1ケース=633ml×20本)

※3 ノンアルコールビールテイスト飲料を除く

※4 当社「金麦」比

※5 インタージSRI調べ 15年1月~15年12月(全国SM/CVS/酒DS/一般・業務用酒店計)

サントリーワインインターナショナル(株)は、為替の影響を受け、売上高が微減となりました。なお、為替影響を除いた場合は前年同期比102%の売上となりました。国産ぶどう100%ワイン“日本ワイン”は、料飲店様においてグラスでの販売を訴求するなどお客様との接点拡大を図った結果、販売数量が前年同期比121%と大きく伸長しました。「サントリー登美の丘ワイナリー 登美白 2013」は、国際ワインコンクールで「金賞」を受賞し、同社“日本ワイン”の金賞受賞は5年連続となりました。また、「カーニヴォ」「エル グリル」など“特定の料理や食材に合うワイン”がご好評いただいたほか、中高価格帯の輸入ワインも伸長しました。

これらの結果、酒類セグメントの売上高は、4,661億円(前年同期比98.1%)、営業利益395億円(同124.1%)となりました。

## 〈その他セグメント〉

サントリーウエルネス(株)は「セサミン」シリーズやスキンケア化粧品「F.A.G.E.(エファージュ)」などが好調で前年同期比113%の売上となりました。ハーゲンダッツ ジャパン(株)は新商品などが好調に推移しました。(株)ダイナックなどの外食事業も堅調に推移しました。また、サントリー(中国)ホールディングス有限公司が今年3月に青島啤酒股份有限公司との合弁契約を解消したことなどから、その他セグメントの売上高は1,325億円(前年同期比92.4%)、営業利益は162億円(同108.1%)となりました。

なお、国内売上高は8,252億円(前年同期比111.4%)、海外売上高は4,479億円(同90.4%)となりました。海外売上高は、為替の影響を除くと前年同期比99.7%となります。

売上の海外比率は35.2%、のれん等償却前営業利益の海外比率は51.2%となりました。

当社は、創業以来、積極的に事業を展開するとともに、創業の精神である『利益三分主義』に基づき、文化・社会貢献、環境活動などにも取り組んでいます。また、『水と生きる SUNTORY』というコーポレートメッセージのもと、社会と自然との共生を目指したさまざまな活動を展開しています。

東日本大震災の復興支援活動は、震災以降累計108億円の規模で、「漁業の復興支援」「未来を担う子どもたちの支援」「チャレンジド・スポーツ(障がい者スポーツ)支援」「文化・スポーツを通じた支援」を柱に継続して実施しています。また、昨年7月に一般社団法人 日本車椅子バスケットボール連盟とオフィシャルパートナー契約を締結し、日本の車椅子バスケットボールを応援しています。

なお、平成28年(2016年)熊本地震発生に際し、救援物資を供出したほか、5月に義捐金1億円を拠出しました。

環境活動では、水源涵養活動を展開している「サントリー 天然水の森」において引き続き積極的な活動を展開、これまでに約8,000haの面積を涵養しています。2020年までに国内工場で使用する地下水量の2倍の水を育む面積を目指していきます。子どもたちに水の大切さを伝える次世代環境教育「水育」<sup>みずいく</sup>は、国内での活動に加え、今年で2年目となるベトナムでは新たにホーチミン市などでも実施しています。また、容器包装の軽量化や生産工程での節水・省エネルギー活動も推進しました。植物由来原料100%使用ペットボトルの開発に米国企業と共同で取り組んでおり、1月には実証プラントの建設を開始しました。

## 2.通期の見通し

2016年12月期の売上高は、2兆7,300億円(前年同期比101.6%)、営業利益1,880億円(同101.6%)、経常利益1,600億円(同102.4%)、親会社株主に帰属する当期純利益500億円(同110.5%)を予定しています。

なお、のれん等償却前利益は、営業利益2,580億円(前年同期比101.2%)、経常利益2,300億円(同101.8%)、親会社株主に帰属する当期純利益1,080億円(同104.4%)となります。

(2016年2月15日発表の業績予想から変更はありません。)

## 大株主の状況

2016年6月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に対 する所有株式数の割 合 (%)
寿不動産株式会社	大阪市北区堂島浜二丁目1番40号	613,818	89.32
サントリー持株会	大阪市北区堂島浜二丁目1番40号	32,602	4.74
株式会社三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内二丁目7番1号	6,871	1.00
株式会社三井住友銀行	東京都千代田区丸の内一丁目1番2号	6,871	1.00
三井住友信託銀行株式会社	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号	6,871	1.00
日本生命保険相互会社	東京都千代田区丸の内一丁目6番6号	6,871	1.00
公益財団法人サントリー生命科学財団	京都府相楽郡精華町精華台八丁目1番地1	3,590	0.52
サントリーホールディングス株式会社(自己株式)	大阪市北区堂島浜二丁目1番40号	3,360	0.48
佐治信忠	東京都港区	652	0.09
鳥井信吾	神戸市東灘区	539	0.07
計	—	682,049	99.25

(注) サントリー持株会は、当社従業員持株会です。

## 役員 の 状 況

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当中間決算概況の提出日までにおいて、役員の変動はありません。



## 中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

期 別 科 目	前連結会計年度 (2015年12月31日現在)	当中間連結会計期間 (2016年6月30日現在)	増 減
	金 額	金 額	金 額
( 資 産 の 部 )			
I 流動資産	1,205,761	1,233,429	27,667
現金及び預金	258,622	345,366	86,744
受取手形及び売掛金	380,562	344,771	△35,791
たな卸資産	438,927	411,708	△27,218
その他	129,758	132,939	3,180
貸倒引当金	△2,109	△1,357	751
II 固定資産	3,400,453	2,899,702	△500,751
1.有形固定資産	686,068	597,323	△88,745
建物及び構築物	198,016	167,302	△30,713
機械装置及び運搬具	255,743	215,991	△39,751
工具、器具及び備品	63,223	60,310	△2,912
土地	106,203	96,815	△9,387
その他	62,881	56,902	△5,978
2.無形固定資産	2,512,908	2,107,791	△405,116
のれん	1,136,879	959,808	△177,070
商標権	1,285,478	1,070,076	△215,401
その他	90,550	77,906	△12,644
3.投資その他の資産	201,477	194,587	△6,889
投資有価証券	119,633	106,142	△13,490
その他	83,153	89,670	6,517
貸倒引当金	△1,309	△1,225	84
III 繰延資産	774	636	△138
資産合計	4,606,990	4,133,767	△473,222

(単位:百万円)

科 目	期 別	前連結会計年度 (2015年12月31日現在)	当中間連結会計期間 (2016年6月30日現在)	増 減
		金 額	金 額	金 額
( 負 債 の 部 )				
I 流動負債		934,627	936,862	2,234
支払手形及び買掛金		146,790	138,128	△8,661
電子記録債務		109,333	118,306	8,973
短期借入金		161,664	248,709	87,044
1年内償還予定の社債		51,918	33,498	△18,420
未払酒税		55,064	33,631	△21,432
未払消費税等		22,349	14,746	△7,602
未払法人税等		36,629	20,996	△15,632
未払金		157,615	131,042	△26,573
未払費用		83,008	87,668	4,660
賞与引当金		26,149	18,306	△7,842
その他の		84,104	91,827	7,722
II 固定負債		2,509,733	2,255,022	△254,710
社債		421,883	387,436	△34,447
長期借入金		1,427,812	1,325,052	△102,760
繰延税金負債		471,066	404,084	△66,981
役員退職慰労引当金		1,004	868	△136
退職給付に係る負債		33,926	31,262	△2,664
その他の		154,039	106,319	△47,720
負債合計		3,444,361	3,191,885	△252,475
( 純 資 産 の 部 )				
I 株主資本		790,288	813,484	23,195
資本金		70,000	70,000	—
資本剰余金		△20,780	137,965	158,746
利益剰余金		743,354	607,803	△135,551
自己株式		△2,285	△2,285	—
II その他の包括利益累計額		67,384	△128,380	△195,764
その他有価証券評価差額金		26,427	20,908	△5,518
繰延ヘッジ損益		△3,803	△10,633	△6,830
為替換算調整勘定		53,256	△130,660	△183,917
退職給付に係る調整累計額		△8,496	△7,994	501
III 非支配株主持分		304,956	256,778	△48,177
純資産合計		1,162,629	941,882	△220,746
負債純資産合計		4,606,990	4,133,767	△473,222

## 中間連結損益計算書

(単位:百万円)

期 別 科 目	前中間連結会計期間 ( 自 2015年 1月 1日 至 2015年 6月30日 )	当中間連結会計期間 ( 自 2016年 1月 1日 至 2016年 6月30日 )	増 減
	金 額	金 額	金 額
I 売 上 高	1,236,336	1,273,069	36,732
II 売 上 原 価	614,354	605,134	△9,219
売 上 総 利 益	621,982	667,934	45,952
III 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	545,455	580,657	35,202
営 業 利 益	76,527	87,277	10,749
IV 営 業 外 収 益	6,245	5,109	△1,135
受 取 利 息	443	536	93
受 取 配 当 金	688	606	△81
持 分 法 に よ る 投 資 利 益	1,167	2,197	1,029
為 替 差 益	744	—	△744
雑 収 入	3,201	1,768	△1,433
V 営 業 外 費 用	16,534	16,738	204
支 払 利 息	14,390	14,070	△320
雑 支 出	2,143	2,668	525
経 常 利 益	66,238	75,647	9,409
VI 特 別 利 益	3,259	17,666	14,407
固 定 資 産 売 却 益	891	2,031	1,139
関 係 会 社 株 式 売 却 益	2,332	4,500	2,168
事 業 譲 渡 益	—	8,306	8,306
債 務 戻 入 益	—	2,684	2,684
そ の 他	35	143	108
VII 特 別 損 失	8,266	16,058	7,792
固 定 資 産 廃 棄 損	1,541	1,944	403
組 織 再 編 関 連 費 用	3,853	2,681	△1,171
震 災 関 連 費 用	—	10,133	10,133
そ の 他	2,871	1,298	△1,572
税 金 等 調 整 前 中 間 純 利 益	61,231	77,255	16,023
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税	35,180	33,008	△2,172
法 人 税 等 調 整 額	△1,329	△4,229	△2,900
中 間 純 利 益	27,380	48,476	21,096
非 支 配 株 主 に 帰 属 す る 中 間 純 利 益	11,850	12,842	991
親 会 社 株 主 に 帰 属 す る 中 間 純 利 益	15,529	35,633	20,104

## 中間連結株主資本等変動計算書

前中間連結会計期間(自 2015年1月1日 至 2015年6月30日)

(単位:百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額					非支配株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	退職給付に 係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額 合計		
当期首残高	70,000	△20,739	692,849	△2,604	739,505	20,322	1,239	132,379	△11,425	142,516	308,733	1,190,756
会計方針の変更による累積的影響額			8,881		8,881						1,434	10,316
会計方針の変更を反映した当期首残高	70,000	△20,739	701,731	△2,604	748,387	20,322	1,239	132,379	△11,425	142,516	310,167	1,201,072
当中間期変動額												
剰余金の配当			△8,199		△8,199							△8,199
親会社株主に帰属する中間純利益			15,529		15,529							15,529
持分法の適用範囲の変動			4,547		4,547							4,547
非支配株主へ付与されたプット・オプション			36		36							36
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		△282			△282							△282
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)						9,192	△1,767	△18,555	△30	△11,160	△1,213	△12,374
当中間期変動額合計	—	△282	11,913	—	11,631	9,192	△1,767	△18,555	△30	△11,160	△1,213	△743
当中間期末残高	70,000	△21,021	713,645	△2,604	760,018	29,514	△527	113,824	△11,455	131,356	308,953	1,200,328

当中間連結会計期間(自 2016年1月1日 至 2016年6月30日)

(単位:百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額					非支配株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	退職給付に 係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額 合計		
当期首残高	70,000	△20,780	743,354	△2,285	790,288	26,427	△3,803	53,256	△8,496	67,384	304,956	1,162,629
会計方針の変更による累積的影響額		158,808	△162,979		△4,171			△1,024		△1,024	△798	△5,994
会計方針の変更を反映した当期首残高	70,000	138,027	580,375	△2,285	786,117	26,427	△3,803	52,232	△8,496	66,360	304,157	1,156,634
当中間期変動額												
剰余金の配当			△8,205		△8,205							△8,205
親会社株主に帰属する中間純利益			35,633		35,633							35,633
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		△61			△61							△61
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)						△5,518	△6,830	△182,893	501	△194,740	△47,378	△242,118
当中間期変動額合計	—	△61	27,428	—	27,366	△5,518	△6,830	△182,893	501	△194,740	△47,378	△214,752
当中間期末残高	70,000	137,965	607,803	△2,285	813,484	20,908	△10,633	△130,660	△7,994	△128,380	256,778	941,882

## 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	期別	前中間連結会計期間 〔 自 2015年 1月 1日 至 2015年 6月 30日 〕	当中間連結会計期間 〔 自 2016年 1月 1日 至 2016年 6月 30日 〕
		金額	金額
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>			
税金等調整前中間純利益		61,231	77,255
減価償却費		43,392	45,751
のれん償却額		31,164	31,547
受取利息及び受取配当金		△1,131	△1,143
支払利息		14,390	14,070
持分法による投資損益(△は益)		△1,167	△2,197
関係会社株式売却損益(△は益)		△2,332	△4,500
事業譲渡損益(△は益)		—	△8,306
固定資産廃棄損		1,541	1,944
売上債権の増減額(△は増加)		△20,066	130
たな卸資産の増減額(△は増加)		△26,692	△27,028
仕入債務の増減額(△は減少)		28,127	18,130
未払酒税及び未払消費税等の増減額(△は減少)		△17,141	△25,550
その他		22,255	17,947
小計		133,572	138,051
利息及び配当金の受取額		1,158	2,438
利息の支払額		△15,664	△15,747
法人税等の支払額		△33,759	△49,172
営業活動によるキャッシュ・フロー		85,307	75,569
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>			
有形及び無形固定資産の取得による支出		△50,941	△51,804
有形及び無形固定資産の売却による収入		3,735	4,382
投資有価証券の取得による支出		△393	△968
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入		2,816	6,872
事業譲渡による収入		—	25,832
その他		△149	3,691
投資活動によるキャッシュ・フロー		△44,931	△11,994
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>			
短期借入金及びコマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)		30,732	50,621
長期借入れによる収入		5,004	86,091
長期借入金の返済による支出		△28,398	△57,356
社債の発行による収入		—	50,000
社債の償還による支出		△900	△67,492
リース債務の返済による支出		△1,050	△4,856
配当金の支払額		△8,199	△8,205
非支配株主への配当金の支払額		△7,774	△8,198
その他		27	△810
財務活動によるキャッシュ・フロー		△10,558	39,793
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額		△1,401	△16,622
V 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		28,416	86,745
VI 現金及び現金同等物の期首残高		199,308	257,990
VII 現金及び現金同等物の中間期末残高		227,724	344,735

## セグメント情報

### 1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、経営陣が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社は持株会社制を導入し、持株会社である当社の下、製品・サービス別の事業分野別に事業会社等を設置しています。各事業会社等は取り扱う製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しています。

したがって、当社グループは事業会社等を中心とした製品・サービス別のセグメントから構成され、「飲料・食品事業」、「酒類事業」の2つを報告セグメントとしています。

各報告セグメントと「その他」の区分に属する主な製品・サービスの種類は以下のとおりです。

飲料・食品……………清涼飲料、健康飲料、加工食品 他  
 酒類……………スピリッツ、ビール類、ワイン 他  
 その他……………中国事業、健康食品、アイスクリーム、外食、花 他

### 2. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

前中間連結会計期間(自 2015年1月1日 至 2015年6月30日)

(単位:百万円)

	飲料・食品	酒類	その他	計	調整額(注)1	中間連結損益 計算書計上額 (注)2
売上高						
外部顧客への売上高	618,044	474,896	143,395	1,236,336	—	1,236,336
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,297	2,549	5,358	12,205	△ 12,205	—
計	622,342	477,446	148,754	1,248,542	△ 12,205	1,236,336
セグメント利益	46,693	31,783	14,991	93,468	△ 16,940	76,527

当中間連結会計期間(自 2016年1月1日 至 2016年6月30日)

(単位:百万円)

	飲料・食品	酒類	その他	計	調整額(注)1	中間連結損益 計算書計上額 (注)2
売上高						
外部顧客への売上高	674,466	466,096	132,506	1,273,069	—	1,273,069
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,580	2,453	5,140	12,175	△ 12,175	—
計	679,047	468,550	137,646	1,285,244	△ 12,175	1,273,069
セグメント利益	49,210	39,458	16,203	104,873	△ 17,595	87,277

(注) 1. セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれています。全社費用は、当社において発生するグループ管理費用です。それぞれの金額は次のとおりです。

前中間連結会計期間	
セグメント利益の調整額	△ 16,940 百万円
各報告セグメントに配分していない全社費用	△ 16,977 百万円
セグメント間取引消去	37 百万円
当中間連結会計期間	
セグメント利益の調整額	△ 17,595 百万円
各報告セグメントに配分していない全社費用	△ 17,629 百万円
セグメント間取引消去	33 百万円

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

中間貸借対照表

(単位:百万円)

科目	期別	前事業年度 (2015年12月31日現在)	当中間会計期間 (2016年6月30日現在)	増減
		金額	金額	金額
(資産の部)				
I 流動資産		960,992	1,177,768	216,775
現金及び預金		83,747	136,913	53,166
売掛金		3,662	3,617	△44
有価証券		2	2	—
貯蔵品		54	51	△2
短期貸付金		849,630	1,008,322	158,692
その他		23,895	28,859	4,964
II 固定資産		1,084,984	914,200	△170,784
1.有形固定資産		36,427	35,747	△680
2.無形固定資産		3,876	3,876	0
3.投資その他の資産		1,044,680	874,576	△170,104
関係会社株式		295,447	295,381	△65
関係会社長期貸付金		698,129	532,138	△165,990
その他の		52,530	48,506	△4,023
貸倒引当金		△1,427	△1,450	△23
III 繰延資産		424	518	93
資産合計		2,046,401	2,092,486	46,085

(注)

有形固定資産に対する減価償却累計額	31,017	31,877	859
-------------------	--------	--------	-----

(単位:百万円)

科目	期別	前事業年度 (2015年12月31日現在)	当中間会計期間 (2016年6月30日現在)	増減
		金額	金額	金額
(負債の部)				
I 流動負債		143,203	198,220	55,017
短期借入金		24,633	90,787	66,153
1年内償還予定の社債		3,600	2,500	△1,100
未払法人税等		11,808	169	△11,638
預り金		78,298	65,900	△12,398
賞与引当金		5,682	5,136	△546
その他		19,180	33,727	14,546
II 固定負債		1,372,540	1,358,247	△14,293
社債		179,845	204,619	24,774
長期借入金		1,166,816	1,120,511	△46,304
退職給付引当金		3,571	3,746	174
資産除去債務		778	785	6
その他		21,528	28,583	7,055
負債合計		1,515,743	1,556,467	40,724
(純資産の部)				
I 株主資本		526,453	539,924	13,471
資本金		70,000	70,000	—
資本剰余金		285,273	285,273	—
資本準備金		17,500	17,500	—
その他資本剰余金		267,773	267,773	—
利益剰余金		173,464	186,936	13,471
その他利益剰余金		173,464	186,936	13,471
特別償却準備金		107	92	△14
固定資産圧縮積立金		914	921	7
別途積立金		154,900	160,100	5,200
繰越利益剰余金		17,543	25,821	8,278
自己株式		△2,285	△2,285	—
II 評価・換算差額等		4,205	△3,905	△8,110
その他有価証券評価差額金		7,718	5,408	△2,310
繰延ヘッジ損益		△3,513	△9,314	△5,800
純資産合計		530,658	536,019	5,360
負債純資産合計		2,046,401	2,092,486	46,085

## 中間損益計算書

(単位:百万円)

科 目	前 中 間 会 計 期 間	当 中 間 会 計 期 間	増 減
	( 自 2015年1月 1日 ) ( 至 2015年6月30日 )	( 自 2016年1月 1日 ) ( 至 2016年6月30日 )	
	金 額	金 額	金 額
I 営 業 収 益	31,590	37,056	5,465
II 営 業 費 用	17,622	18,303	681
営 業 利 益	13,967	18,752	4,784
III 営 業 外 収 益	8,035	7,637	△397
IV 営 業 外 費 用	8,408	8,168	△239
経 常 利 益	13,594	18,221	4,626
V 特 別 利 益	978	2,246	1,267
VI 特 別 損 失	9,748	227	△9,521
税 引 前 中 間 純 利 益	4,824	20,239	15,414
法人税、住民税及び事業税	1,081	△391	△1,472
法 人 税 等 調 整 額	△1,248	△1,046	202
中 間 純 利 益	4,991	21,676	16,685



## 中間株主資本等変動計算書

前中間会計期間(自 2015年1月1日 至 2015年6月30日)

(単位:百万円)

	株主資本											評価・換算差額等			純資産合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金				自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等合計		
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	その他利益剰余金									利益剰余金 合計	
					特別償却 準備金	固定資産圧縮 積立金	別途積立金	繰越利益 剰余金							
当期首残高	70,000	17,500	267,590	285,090	66	37	124,100	43,169	167,373	△2,604	519,858	7,228	△1,239	5,989	525,848
会計方針の変更による累積的影響額								6,777	6,777		6,777				6,777
会計方針の変更を反映した当期首残高	70,000	17,500	267,590	285,090	66	37	124,100	49,946	174,150	△2,604	526,636	7,228	△1,239	5,989	532,625
当中間期変動額															
剰余金の配当								△8,199	△8,199		△8,199				△8,199
中間純利益								4,991	4,991		4,991				4,991
税率変更に伴う 特別償却準備金の増加					2			△2	—		—				—
特別償却準備金の取崩					△11			11	—		—				—
固定資産圧縮積立金の積立						689		△689	—		—				—
税率変更に伴う 固定資産圧縮積立金の増加						2		△2	—		—				—
固定資産圧縮積立金の取崩						△2		2	—		—				—
別途積立金の積立							30,800	△30,800	—		—				—
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)												3,655	444	4,099	4,099
当中間期変動額合計	—	—	—	—	△8	689	30,800	△34,688	△3,208	—	△3,208	3,655	444	4,099	891
当中間期末残高	70,000	17,500	267,590	285,090	58	726	154,900	15,257	170,942	△2,604	523,427	10,883	△794	10,088	533,516

当中間会計期間(自 2016年1月1日 至 2016年6月30日)

(単位:百万円)

	株主資本											評価・換算差額等			純資産合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金				自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等合計		
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	その他利益剰余金									利益剰余金 合計	
					特別償却 準備金	固定資産圧縮 積立金	別途積立金	繰越利益 剰余金							
当期首残高	70,000	17,500	267,773	285,273	107	914	154,900	17,543	173,464	△2,285	526,453	7,718	△3,513	4,205	530,658
当中間期変動額															
剰余金の配当								△8,205	△8,205		△8,205				△8,205
中間純利益								21,676	21,676		21,676				21,676
税率変更に伴う 特別償却準備金の増加					1			△1	—		—				—
特別償却準備金の取崩					△16			16	—		—				—
税率変更に伴う 固定資産圧縮積立金の増加						21		△21	—		—				—
固定資産圧縮積立金の取崩						△13		13	—		—				—
別途積立金の積立							5,200	△5,200	—		—				—
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)												△2,310	△5,800	△8,110	△8,110
当中間期変動額合計	—	—	—	—	△14	7	5,200	8,278	13,471	—	13,471	△2,310	△5,800	△8,110	5,360
当中間期末残高	70,000	17,500	267,773	285,273	92	921	160,100	25,821	186,936	△2,285	539,924	5,408	△9,314	△3,905	536,019